

Scarborough Fair 訳詞と解説

“スカボローフェア (Scarborough Fair)”は、イングランドの伝統的な民謡。

スカボロー (Scarborough) とは、イギリス北東部ヨークシャー州にある海沿いの観光地で、フェア (Fair) とは、スカボローで定期的に行われる市・マーケットを指します。

“スカボローフェア”は、16世紀頃のイングランドのブロードサイド・バラッド(伝承歌)を源流とするトラディショナルですが、今日よく耳にするのは、サイモン&ガーファンクルが1966年にリリースしたアレンジ・バージョンです。

サイモン&ガーファンクル (Simon and Garfunkel) は、1960年代に活躍したフォークロックデュオ。どちらも1941年生まれで、その多感な20代をベトナム戦争(1960-75)の真っ只中で過ごしました。そのため、彼らの作品には「反戦」をテーマとした歌詞・アレンジが散見されます。「スカボローフェア」においても、伝統的な歌詞の間に、反戦のメッセージが輪唱のように付け加えられており、独自の世界観を醸し出しています。

サイモン&ガーファンクルによる「スカボローフェア」のアレンジ・バージョンは、1967年のダスティン・ホフマン主演の映画「卒業」の挿入歌として用いられ、世界的に有名になりました。

歌詞・日本語訳(意訳)

Are you going to Scarborough Fair?	スカボローの市へ行くのですか?
(Parsley, sage, rosemary and thyme)	(*パセリ、セージ、ローズマリー、タイム)
Remember me to one who lives there	そこに住むある人によろしく言ってください
For once she was a true love of mine.	彼女はかつての私の恋人だったから
Have her make me a cambric shirt	**ケンブリックのシャツを彼女に作ってもらってください
(Parsley, sage, rosemary and thyme)	(*パセリ、セージ、ローズマリー、タイム)
Without a seam or fine needle work	縫い目も残さず針も使わずに
And then she'll be a true love of mine.	そうしたら彼女は私の恋人

* Parsley, sage, rosemary and thyme (パセリ、セージ、ローズマリー、タイム)は すべてハーブの名前を指しています。

* The Cambric Shirt キャンブリックとは、亜麻糸・綿糸で織った薄地の平織物で、主にハンカチに用いられる繊維のことです。

4つのハーブの秘密

何者かが、スカボローフェアに向かう旅人に対し、そこに住んでい女性に言づてを頼む、あるいは宜しく言ってくれと頼んでいるわけです。remember me to~ はそういう意味。それに対して、旅人はまともに答えず、「パセリ、セージ、ローズマリー、タイム」というだけです。

また、その言つての内容は、実行不可能な頼み事の連続です。

縫い目の無いシャツ、海辺に広大な土地(3番)、切れない鎌での収穫(4番)...

もう一度恋人になりたいのに、実行不可能な要求を出す。つまりは、恋人になれない、なることはないという事が前提のようです。そして、それに対する旅人の答えも、「パセリ、セージ、ローズマリー、タイム」。

「パセリ、セージ、ローズマリー、タイム」とは？

これらのハーブは 今は薬味として料理に使われるわけですが、かつては薬草として医療に使われていました。そして、細菌やウイルスを知らない時代は、病気や怪我から身を守ってくれる薬草は、災難や悪霊からも守る力があると考えられていたようです。

そして、この Parsley, sage, rosemary and thyme は悪い霊から身を守るためのおまじないになっていたらしいのです。

それでは、なぜこの言葉がこの歌に使われているのか。

それは、問いかけている存在が、森に棲む悪霊(あるいは妖精、魔物)で、この世のものではないからです。

つまり、この歌には、問いかける存在X、それを聞く旅人、スカボローに住む女性の3者がいます。Xはなぜ直接女性に会いに行かないのか。それはもはや魔界の者になってしまっていて会えない身だからです。では、なぜ旅人は何も答えないのか。答えてしまったら魔界に連れて行かれるか、殺されるからです。だから、おまじないの言葉だけを固く繰り返すだけなのです。この手の民話はよくあります。魔物の問いに答えてはいけない、と。

★ 本解説の他にも諸説あると思いますので、色々調べてみると面白いかもしれません。